



2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年10月27日

上場会社名 ブロードメディア株式会社
コード番号 4347 URL <https://www.broadmedia.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橋本 太郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 押尾 英明

TEL 03-6439-3983

四半期報告書提出予定日 2023年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	6,861	8.5	552	18.6	589	17.3	447	37.2
2023年3月期第2四半期	6,323	6.0	465	45.7	503	41.5	326	21.0

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 448百万円 (24.7%) 2023年3月期第2四半期 359百万円 (33.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	61.59	
2023年3月期第2四半期	44.32	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	9,892	5,661	45.9	624.43
2023年3月期	9,948	5,450	43.2	591.40

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 4,545百万円 2023年3月期 4,300百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		30.00	30.00
2024年3月期		0.00			
2024年3月期(予想)				33.00	33.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,300	9.8	1,200	15.8	1,200	11.2	1,000	9.9	137.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	7,914,732 株	2023年3月期	7,914,732 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	635,613 株	2023年3月期	642,303 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	7,270,421 株	2023年3月期2Q	7,363,526 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因によって異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	11
(セグメント情報等)	11
(収益認識関係)	13
(重要な後発事象)	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、第1四半期連結累計期間より報告セグメントの区分を「教育」「スタジオ・コンテンツ」「放送」「技術」「その他」から、以下の理由により、新たに「教育」「メディアコンテンツ」「スタジオ・プロダクション」「放送」「技術」「その他」に変更いたしました。

- i) 「スタジオ・コンテンツ」を「メディアコンテンツ」「スタジオ・プロダクション」に分離
 - ii) 投資先であった(株)ポケットを連結子会社化し、「その他」にゲームパブリッシング事業として帰属
- なお、前第2四半期連結累計期間との比較、分析は、変更後のセグメントの区分に基づいております。

当第2四半期連結累計期間における売上高は、前年同期と比べ537,498千円(8.5%)増加し、6,861,497千円(前年同期は6,323,999千円)となりました。「メディアコンテンツ」「スタジオ・プロダクション」「放送」は減収となりましたが、「教育」「技術」「その他」が増収となったことにより、売上高は増加いたしました。

営業利益は、552,494千円(前年同期は465,971千円)となりました。「メディアコンテンツ」「その他」が損失を計上し、「スタジオ・プロダクション」「放送」が減益となったものの、「教育」「技術」が増益となったことが牽引し、増益となりました。

経常利益は、589,921千円(前年同期は503,055千円)となりました。営業利益の増加に加え、為替差益を計上したこと等により、経常利益も増益となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、447,814千円(前年同期は326,360千円)となりました。経常利益が増加したことに加え、前年同期に発生した外国映画の配給事業からの撤退に係る棚卸資産の評価減がないことから、親会社株主に帰属する四半期純利益も増益となりました。

(2023年9月30日現在)

セグメントの名称	事業内容	主な業務の内容	主な連結子会社
教育	通信制高校	・イーラーニングシステムを利用した単位制・広域通信制高校「ルネサンス高等学校グループ」(「ルネサンス高等学校」「ルネサンス豊田高等学校」「ルネサンス大阪高等学校」)の運営	—
	日本語教育	・日本語研修・日本語教師養成講座を提供する「ルネサンス日本語学院」の運営	—
メディアコンテンツ	デジタルメディアサービス	・マルチデバイス向けコンテンツ配信サービス「クランクイン!ビデオ」「クランクイン!コミック」の提供 ・エンタメ・情報サイト「クランクイン!」「クランクイン!トレンド」の企画・運営	—
	コンテンツ販売事業	・テレビ放映権の販売、VOD権の販売、DVD/Blu-rayの販売 ・劇場映画の製作・配給	—
スタジオ・プロダクション	制作事業	・日本語字幕・吹替、難聴者向け字幕、視覚障害者向け音声解説、番組宣伝等の制作	—
放送	釣り専門チャンネル	・衛星基幹放送事業「BS釣りビジョン」の番組制作、放送及び、ケーブルテレビ局等への番組供給 ・映像の受託制作	(株)釣りビジョン
	釣りビジョンVOD	・「釣りビジョン倶楽部」の運営 ・動画コンテンツ提供事業者向けの釣りコンテンツの提供	
技術	アカマイサービス	・コンテンツを最適な形で配信する「CDNサービス」、 「セキュリティサービス」の提供	—
	クラウドソリューション	・クラウドゲームサービスの提供 ・通信事業者へのクラウドゲームプラットフォーム提供及びゲーム事業者へのクラウドゲーム機能提供 ・スマートフォン向けクラウドゲームアプリの提供	Oy Gamecluster Ltd.
	デジタルシネマサービス	・ブロードメディア*CDN for theaterの提供、及び上映システムの設計・販売及びレンタル ・映画館へデジタル機材の導入を推進する配給・興行向けVPPサービスの提供	—

セグメントの名称	事業内容	主な業務の内容	主な連結子会社
技術	ホスピタリティ・ネットワーク	・ホテルの客室・会議室へのインターネットサービスの提供、機器の監視及び保守サービスの提供	—
	システム開発	・設計からソフトウェア開発、保守運用までワンストップのシステム開発の提供	システムデザイン開発㈱
	その他ソリューションサービス	・グローバルに展開されたプライベートネットワーク「Aryaka」等の提供 ・画像解析技術を駆使した小売業向け次世代型AIソリューション「Vue.ai」の提供 ・CM素材をオンラインで搬入する「CMオンラインサービス」の提供	—
その他	プロeスポーツ推進事業	・プロeスポーツチーム「CYCLOPS athlete gaming」の運営 ・eスポーツ関連イベントの企画・運営	ブロードメディアeスポーツ㈱
	ゲームパブリッシング事業	・Nintendo Switch向けのゲームソフトやVR専用ソフト等の企画・開発・販売および配信	㈱ポケット
	ネットワーク営業	・通信キャリア等の通信商材の拡販	—
全社費用	・ブロードメディア㈱本社の管理業務（人事総務、財務経理、法務等）及びグループ会社の統括管理 ・グループ全体の支援（生産性向上・効率化・ガバナンス強化等）	—	
持分法適用関連会社（注）	・全テレビ番組録画機の企画・製造・販売、及びテレビ番組ソーシャルサービスの運営	ガラボン㈱	

（注） 「持分法適用関連会社」に含まれる事業は、報告セグメントには含まれておりません。

当第2四半期連結累計期間における各セグメントの売上高及び営業損益の概況は、以下のとおりです。

①教育

「教育」セグメントは、「ルネサンス高等学校」「ルネサンス豊田高等学校」「ルネサンス大阪高等学校」の広域通信制高校（ルネサンス高等学校グループ）の運営、日本語研修・日本語教師養成講座を提供する「ルネサンス日本語学院」の運営を行っております。

売上高は、前年同期と比べ510,260千円（30.6%）増加し、2,177,645千円（前年同期は1,667,385千円）、営業利益は698,501千円（前年同期は498,174千円）となりました。

ルネサンス高等学校グループの生徒数が8期連続で過去最高を更新したことにより、増収増益となりました。また、新たなキャンパスの開校や既存拠点の拡大により、eスポーツコースの受講生が順調に増加したことも増収増益に寄与いたしました。

②メディアコンテンツ

「メディアコンテンツ」セグメントは、マルチデバイス向けのコンテンツ配信サービス「クランクイン！ビデオ」「クランクイン！コミック」やエンタメ・情報サイト「クランクイン！」「クランクイン！トレンド」の企画・運営、映画やテレビドラマ、アニメ等映像作品の権利を買付け、テレビ局への番組放映権の販売や劇場配給、VOD権の販売、DVD/Blu-rayの販売等を行っております。

売上高は、前年同期と比べ70,897千円（18.2%）減少し、318,694千円（前年同期は389,591千円）、営業損益は88,633千円の損失（前年同期は136,746千円の損失）となりました。

デジタルメディアサービスは広告収入の不調により減収となったものの、コスト抑制効果により赤字幅が縮小いたしました。コンテンツ販売事業はテレビ向け番組販売が減少いたしました。その結果、「メディアコンテンツ」セグメントは減収となりましたが、営業損失は縮小いたしました。

③スタジオ・プロダクション

「スタジオ・プロダクション」セグメントは、海外の映画及びテレビ作品の日本語字幕・吹替制作、難聴者向け字幕制作、視覚障害者向け音声解説制作、番組宣伝等の制作を行っております。

売上高は、前年同期と比べ35,442千円（3.8%）減少し、899,430千円（前年同期は934,873千円）、営業利益は51,715千円（前年同期は75,495千円）となりました。

日本語字幕・吹替制作において、海外ドラマシリーズ等の売上計上がシリーズ全話納品後の一括計上に変更となり、第1四半期が減収となったことが影響いたしました。また、人件費等のコストが増加したこと等から、減収減益となりました。

④放送

「放送」セグメントは、釣り専門番組「釣りビジョン」の制作、BS・CS放送及びケーブルテレビ局等あての番組供給事業、マルチデバイス向け動画配信サービス「釣りビジョンVOD」の視聴が可能な「釣りビジョン倶楽部」の提供等を行っております。

売上高は、前年同期と比べ81,862千円(6.6%)減少し、1,166,921千円(前年同期は1,248,784千円)、営業利益は22,805千円(前年同期は115,451千円)となりました。

「釣りビジョン倶楽部」の売上は増加したものの、「釣りビジョン」の視聴料収入の減少傾向が続いていることやスポンサー収入が減少した影響を補いきれず減収減益となりました。

⑤技術

「技術」セグメントは、アカマイサービス(CDNサービス、セキュリティサービス)、クラウドソリューション、デジタルシネマサービス、ホテルの客室・会議室へのインターネットサービス、システム開発、及びその他ソリューションサービスの提供を行っております。

売上高は、前年同期と比べ182,453千円(9.1%)増加し、2,188,196千円(前年同期は2,005,742千円)、営業利益は242,905千円(前年同期は226,620千円)となりました。

主力のアカマイサービスは既存顧客へのサービス提供の拡大が続いていること等により増収となりました。システム開発は機材販売や保守等が増加し、増収となったことに加え、グループ内の各事業のDX化に貢献しております。その結果、「技術」セグメントは増収増益となりました。

⑥その他

「その他」セグメントは、プロeスポーツチーム「CYCLOPS athlete gaming」の運営やeスポーツ関連イベントの企画・運営、Nintendo Switch向けのゲームソフトやVR専用ソフト等の企画・開発・販売および配信、通信キャリア等の通信商材の拡販が含まれております。なお、第1四半期連結累計期間より(株)ポケットを子会社化し、「その他」セグメントに含めております。

売上高は、前年同期と比べ32,988千円(42.5%)増加し、110,610千円(前年同期は77,621千円)、営業損益は31,118千円の損失(前年同期は17,638千円の損失)となりました。

プロeスポーツ推進事業は、事業(賞金・配信収入・スポンサー収入等)が立ち上げ段階ではありますが、大会の出演料や賞金が増加したこと等から増収となり、赤字幅が縮小いたしました。ゲームパブリッシング事業は新規タイトルの投入がなかったため損失を計上いたしました。その結果、「その他」セグメントは増収となったものの損失が拡大いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(イ) 資産

流動資産は、売掛金や前払費用が増加した一方、現金及び預金が減少したこと等により、前期末に比べ122,908千円減少し、7,677,886千円となりました。固定資産は、通信制高校事業の拠点拡大に伴う資産の取得があったことや(株)ポケットの子会社化に伴いのれんが増加したこと等により、前期末に比べ66,101千円増加し、2,214,208千円となりました。これらの結果、総資産は、前期末に比べ56,806千円減少し、9,892,095千円となりました。

(ロ) 負債

流動負債は、預り金が増加した一方、前受金や賞与引当金が減少したこと等により、前期末に比べ251,065千円減少し、4,007,272千円となりました。固定負債は、長期リース債務が減少したことや社債の償還を行ったこと等により前期末に比べ16,085千円減少し、223,718千円となりました。これらの結果、負債合計は、前期末に比べ267,151千円減少し、4,230,991千円となりました。

(ハ) 純資産

配当金の支払いがあった一方、親会社株主に帰属する四半期純利益447,814千円を計上したこと等により、純資産合計は前期末に比べ210,344千円増加し、5,661,103千円となりました。これにより、自己資本比率は45.9%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期末における現金及び現金同等物の残高は、前期末に比べて493,325千円減少し、5,373,643千円となりました。

(イ) 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、マイナス65,679千円（前年同期はマイナス311,731千円）となりました。税金等調整前四半期純利益570,685千円を計上したことに加え、預り金が増加した一方で、前受金の減少や売上債権の増加があったこと等により、営業活動によるキャッシュ・フローはマイナスとなりました。

(ロ) 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、通信制高校事業の拠点拡大に伴う固定資産の取得があったこと等から、マイナス112,412千円（前年同期はマイナス134,502千円）となりました。

(ハ) 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払いに加え、リース債務の返済や社債の償還による支出があったこと等から、マイナス343,376千円（前年同期はマイナス324,412千円）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月9日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,869,218	5,373,643
受取手形及び売掛金	1,064,550	1,433,602
商品及び製品	9,934	12,590
仕掛品	140,546	185,145
原材料及び貯蔵品	4,139	6,504
番組勘定	300,600	282,881
その他	423,662	388,064
貸倒引当金	△11,857	△4,545
流動資産合計	7,800,795	7,677,886
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	305,170	355,100
工具、器具及び備品（純額）	190,059	200,898
その他（純額）	241,370	217,480
有形固定資産合計	736,600	773,479
無形固定資産		
のれん	113,898	217,075
その他	124,342	113,882
無形固定資産合計	238,240	330,958
投資その他の資産		
投資有価証券	121,230	74,691
破産更生債権等	545,286	546,291
その他	1,090,633	1,066,243
貸倒引当金	△583,886	△577,455
投資その他の資産合計	1,173,264	1,109,770
固定資産合計	2,148,106	2,214,208
資産合計	9,948,902	9,892,095

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	482,907	446,256
短期借入金	503,724	502,004
1年内償還予定の社債	65,000	40,000
未払法人税等	80,090	109,175
前受金	2,054,535	1,362,488
賞与引当金	283,513	207,024
その他	788,567	1,340,323
流動負債合計	4,258,337	4,007,272
固定負債		
社債	60,000	40,000
その他	179,804	183,718
固定負債合計	239,804	223,718
負債合計	4,498,142	4,230,991
純資産の部		
株主資本		
資本金	600,000	600,000
資本剰余金	15,207	23,074
利益剰余金	4,320,261	4,549,903
自己株式	△642,295	△636,168
株主資本合計	4,293,173	4,536,809
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	7,710	8,472
その他の包括利益累計額合計	7,710	8,472
非支配株主持分	1,149,875	1,115,821
純資産合計	5,450,759	5,661,103
負債純資産合計	9,948,902	9,892,095

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	6,323,999	6,861,497
売上原価	3,950,179	4,125,881
売上総利益	2,373,819	2,735,616
販売費及び一般管理費	1,907,848	2,183,121
営業利益	465,971	552,494
営業外収益		
受取利息	585	138
受取配当金	126	126
為替差益	15,708	25,304
貸倒引当金戻入額	7,515	9,875
持分法による投資利益	10,014	-
その他	10,188	11,225
営業外収益合計	44,139	46,670
営業外費用		
支払利息	5,848	5,242
持分法による投資損失	-	3,939
その他	1,206	62
営業外費用合計	7,054	9,244
経常利益	503,055	589,921
特別損失		
減損損失	899	3,635
投資有価証券評価損	-	15,600
事業撤退損	110,582	-
特別損失合計	111,481	19,235
税金等調整前四半期純利益	391,574	570,685
法人税、住民税及び事業税	66,927	77,002
法人税等調整額	△34,086	46,035
法人税等合計	32,841	123,037
四半期純利益	358,733	447,647
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	32,373	△167
親会社株主に帰属する四半期純利益	326,360	447,814

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	358,733	447,647
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	868	761
その他の包括利益合計	868	761
四半期包括利益	359,601	448,409
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	327,228	448,576
非支配株主に係る四半期包括利益	32,373	△167

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	391,574	570,685
減価償却費	103,392	110,358
減損損失	899	3,635
のれん償却額	10,742	17,145
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△9,802	△13,742
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△92,960	△76,489
受取利息及び受取配当金	△712	△265
支払利息	5,848	5,242
持分法による投資損益 (△は益)	△10,014	3,939
投資有価証券評価損益 (△は益)	-	15,600
売上債権の増減額 (△は増加)	△292,447	△367,557
棚卸資産の増減額 (△は増加)	131,352	△31,685
仕入債務の増減額 (△は減少)	△123,399	△39,612
未払又は未収消費税等の増減額	2,875	34,545
その他の資産・負債の増減額	△120,746	△249,835
その他	△19,441	△22,843
小計	△22,840	△40,878
利息及び配当金の受取額	209	198
利息の支払額	△5,723	△5,255
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△283,376	△19,743
営業活動によるキャッシュ・フロー	△311,731	△65,679
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△110,867	△88,413
貸付けによる支出	△25,000	-
貸付金の回収による収入	7,500	7,500
その他	△6,134	△31,498
投資活動によるキャッシュ・フロー	△134,502	△112,412
財務活動によるキャッシュ・フロー		
借入金の返済による支出	△6,162	△2,555
社債の償還による支出	△45,000	△45,000
リース債務の返済による支出	△35,179	△36,458
自己株式の取得による支出	△7,106	△8,880
配当金の支払額	△182,555	△216,596
非支配株主への配当金の支払額	△48,408	△33,886
財務活動によるキャッシュ・フロー	△324,412	△343,376
現金及び現金同等物に係る換算差額	23,993	28,143
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△746,652	△493,325
現金及び現金同等物の期首残高	5,301,579	5,866,968
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	17,510	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,572,438	5,373,643

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

2023年7月28日開催の取締役会において、譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分について決議し、自己株式の処分を行いました。この結果、単元未満株式の買取による増加も含め、自己株式が6,126千円減少し、資本剰余金が7,867千円増加しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有な会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント							全社	合計
	教育	メディア コンテンツ	スタジオ・ プロダク ション	放送	技術	その他	計		
売上高	1,667,385	389,591	934,873	1,248,784	2,005,742	77,621	6,323,999	—	6,323,999
セグメント利益 又は損失(△)	498,174	△136,746	75,495	115,451	226,620	△17,638	761,357	△295,385	465,971

(注) セグメント利益又は損失(△)における「全社」は、報告セグメントに帰属しない共通費用であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

報告セグメントの利益又は損失の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益に差額があります。その差額の内容は報告セグメントに帰属しない共通の費用であり、グループ本社(ブロードメディア(株))の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「技術」セグメントにおける事業用資産について、減損損失を認識いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において899千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							全社	合計
	教育	メディア コンテンツ	スタジオ・ プロダク ション	放送	技術	その他	計		
売上高	2,177,645	318,694	899,430	1,166,921	2,188,196	110,610	6,861,497	—	6,861,497
セグメント利益 又は損失(△)	698,501	△88,633	51,715	22,805	242,905	△31,118	896,176	△343,681	552,494

(注) セグメント利益又は損失(△)における「全社」は、報告セグメントに帰属しない共通費用であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

報告セグメントの利益又は損失の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益に差額があります。その差額の内容は報告セグメントに帰属しない共通の費用であり、グループ本社(ブロードメディア(株))の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「メディアコンテンツ」及び「技術」セグメントにおける事業用資産について、減損損失を認識いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においてそれぞれ2,669千円及び966千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

「その他」セグメントにおいて(株)ポケットの株式を取得したことにより、同社を連結子会社としました。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間において120,322千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループはこれまで、「教育」「スタジオ・コンテンツ」「放送」「技術」「その他」の5つのセグメントに事業を区分しておりましたが、第1四半期連結累計期間より、「教育」「メディアコンテンツ」「スタジオ・プロダクション」「放送」「技術」「その他」の6つのセグメントに変更致しました。

(1) 「スタジオ・コンテンツ」を「メディアコンテンツ」、「スタジオ・プロダクション」に分離

(2) 投資先であった(株)ポケットを連結子会社化し、「その他」にゲームパブリッシング事業として帰属。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後のセグメントの区分に基づき作成しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位:千円)

	独自商製品等の ストック収益	独自商製品等の フロー収益	独自商製品以外 のストック収益	独自商製品以外 のフロー収益	外部顧客への 売上高
教育	1,667,385	-	-	-	1,667,385
メディアコンテンツ	-	98,922	219,943	70,726	389,591
スタジオ・プロダクション	-	934,873	-	-	934,873
放送	1,019,150	229,634	-	-	1,248,784
技術	177,993	224,942	1,593,042	9,764	2,005,742
アカマイサービス	-	-	1,556,487	-	1,556,487
その他	177,993	224,942	36,555	9,764	449,255
その他	16,684	49,320	-	11,616	77,621
合計	2,881,213	1,537,692	1,812,985	92,107	6,323,999

(注) 独自商製品等のストック収益とは、教育サービス・「放送」の視聴料・「技術」の企業向けクラウドサービス等、オリジナルサービスの提供等に伴う収益が該当し、原則継続的に積み上がる収益です。

独自商製品等のフロー収益とは、「スタジオ・プロダクション」や「放送」の制作・広告・スポンサーの収入等、オリジナルサービスの提供等に伴う収益が該当し、都度計上される収益です。

独自商製品以外のストック収益とは、「メディアコンテンツ」のコンテンツ配信や「技術」のアカマイサービス等、第三者が原権利を有している商製品の提供等に伴う収益が該当し、原則継続的に積み上がる収益です。

独自商製品以外のフロー収益とは、「メディアコンテンツ」の番組販売等、第三者が原権利を有している商製品の提供等に伴う収益が該当し、都度計上される収益です。

当第2四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）

(単位：千円)

	独自商製品等の ストック収益	独自商製品等の フロー収益	独自商製品以外 のストック収益	独自商製品以外 のフロー収益	外部顧客への 売上高
教育	2,174,995	2,650	-	-	2,177,645
メディアコンテンツ	-	86,613	213,374	18,705	318,694
スタジオ・プロダクション	-	899,430	-	-	899,430
放送	982,340	184,581	-	-	1,166,921
技術	174,588	218,631	1,780,338	14,638	2,188,196
アカマイサービス	-	-	1,730,385	-	1,730,385
その他	174,588	218,631	49,952	14,638	457,810
その他	12,527	87,956	-	10,126	110,610
合計	3,344,451	1,479,863	1,993,712	43,470	6,861,497

(注) 1 独自商製品等のストック収益とは、教育サービス・「放送」の視聴料・「技術」の企業向けクラウドサービス等、オリジナルサービスの提供等に伴う収益が該当し、原則継続的に積み上がる収益です。

独自商製品等のフロー収益とは、「スタジオ・プロダクション」や「放送」の制作・広告・スポンサーの収入等、オリジナルサービスの提供等に伴う収益が該当し、都度計上される収益です。

独自商製品以外のストック収益とは、「メディアコンテンツ」のコンテンツ配信や「技術」のアカマイサービス等、第三者が原権利を有している商製品の提供等に伴う収益が該当し、原則継続的に積み上がる収益です。

独自商製品以外のフロー収益とは、「メディアコンテンツ」の番組販売等、第三者が原権利を有している商製品の提供等に伴う収益が該当し、都度計上される収益です。

2 報告セグメント変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、セグメント情報等に記載のとおり報告セグメントの変更をおこなっております。

なお、前第2四半期連結累計期間の顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、変更後のセグメントの区分に基づき作成しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。